

# 横根平子のまちづくり通信

2017年1月発刊

横根平子のまちづくりを考える会

vol.13

慌ただしさの中にどこか静寂さが潜む年の瀬を経て、清々しさと共に訪れる新年。皆さん、いかがお過ごしでしょうか。私たちの会は、2017年も考え実行し、少しずつ進んでいきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。

## 私たちのまちは、こんなまち

11/23  
(水・祝)

野山に響く、子どもたちの歓声。  
初冬の自然観察会と青空カフェ!

大府自然観察会飯田さんが解説。

総勢29名でまち歩き。普段は二ツ池セレナなどで活動する飯田さんが、植物の話を中心にお話してくださいました。



様々な年齢の子どもたちが一緒に崖へ！おもちゃがなくても、自然の中で子どもたちの笑顔はキラキラです。



自然が一番のお遊び場です!

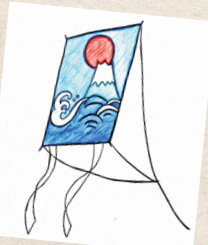
青空と暖かい日差しの中、野山を飛び回り、我先にと崖をよじ登る子どもたち。青空カフェの前には、拾った落ち葉を貼り付けて作品作り。かなりの熱中ぶりでした。

実をつける木々とそれを食べる鳥の話を中心に、生物の「共進化」についてお話しする飯田さん。



### 「障子紙で凧作り」

天上の丘で、毎年正月になるとよく凧揚げをしました。もちろん自作の凧です。竹から竹ひごを作り、竹ひごで凧の骨を組み、障子紙を貼り、絵を描く。そして糸を付けて新聞紙のシッポを付けて出来上がりです。凧の重心を計り、風を読み、揚げようと試みるのですが、なかなか風をとらえられません。やっとの思いで揚がった時の感動は最高です。最近では凧揚げ風景を見なくなりました。たまに揚がることはありますが、全て洋凧です。ちょっと寂しいです。一度みんなで竹から凧作りをして凧揚げ大会をしてみませんか?



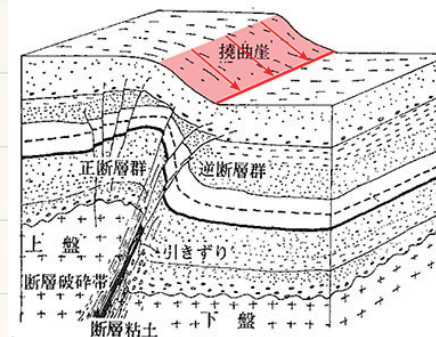
## まちづくりは、今

### たかねやま とうきよく 高根山撓曲(活断層)をご存じですか?

私たちの住む横根町にある高根山撓曲(活断層)について、前回よりも少し詳しくご紹介します。

#### Q1 「撓曲」って何?

例えるなら「表面地層が柔らかい活断層」。断層のうち、特に数十万年前以降に繰り返し活動し、将来も活動すると考えられているものを「活断層」と言います。地表近くの地層が柔らかい場合、「活断層」のズレが地表まで到達せず、ある程度の撓み(たわみ)として現れます。これを「活撓曲」と呼び、活撓曲で形成された穏やかな崖地形を「撓曲崖(とうきよくがい)」と呼びます。



活撓曲の模式図(岡田, 1979を一部改変)

撓曲は「ゆるやかな崖」になっていることが多いよ!

活撓曲の地下に活断層があるので、通常の活断層と同様に地震動による被害はこの周辺域で生じます。

※地震動…地震による地面の揺れ動きのこと。

#### Q2 「高根山撓曲」の特徴は?

猿投一境川断層帯の一部。

大府には2本の活断層があり、そのひとつが「猿投一境川断層」です。そしてその南西部に「高根山撓曲」があります。愛知県の調査の結果、高根山撓曲は猿投一境川断層帯の一部とされています。(愛知県活断層アトラス参照)



高根山撓曲の地図(国土地理院より)

活動間隔は長いものの、注意は必要。

猿投一境川断層の最新活動時期は約11,800年前である可能性が高く、推定活動間隔は約1.4~3.4万年程度です。活動間隔が相当長いため、仮に間隔が約1.4万年であったとしても、近い将来に地震が発生する可能性が高いとは思われません。しかし、1.4万年という値には誤差もあるため安全とは言い切れず、注意を怠ることはできないのです。

#### Q3 活断層線の上でなければ大丈夫ですか?

場合によっては液状化も。

活断層による内陸地震が発生した場合、被害は活断層線上だけではなく、活断層が動いて生ずる地表のズレによる直接的な被害の他にも、地震動による被害が生じます。特に撓曲は地表近くの地層が柔らかい訳ですから、その地盤状況によっては液状化が発生する場合も考えられます。

取り返しが見つからない事態を避けるためにも、活断層の位置を正しく知り、地震が起きたらどのような被害が起きるのかを想定しておく事が大切です。

問い合わせ先 横根町平子 鷹羽 加納 0562-46-4380 0562-47-2595 <http://yokonehirako.jimdo.com/> 横根平子のまちづくりを考える会

ブログも更新中!